(平成23年1月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>1月期の野菜の入荷状況は、葉菜類では、多くの品目で、干ばつ、低温の影響から作柄不良が見られたものの、中央集散機能の発揮により入荷増となった。施設栽培を主とする果菜類では、好天が続き、日照が十分であったこと、また、前年の入荷量が少なかったことから入荷増となった。根菜類では、一部産地で降雪の影響がみられたが、その他の産地では、作柄が良く入荷増となった。土物類は、夏期の高温の影響から作柄が悪く、バレイショでは、入荷前年並み、タマネギでは、入荷減となった。野菜全体では、前年同期を6%上回った。</p> <p>価格は、土物類が全国的な品薄状態から単価高となり、根菜類、葉菜類、果菜類については、品目により様々であった。野菜全体では前年同期を3%下回った。</p> <p>品目別には、ハクサイ、キュウリ、トマトが入荷増の単価高、ホウレンソウが入荷増の単価前年並み、長ダイコン、ナス、ピーマンが入荷増の単価安、西洋ニンジン、キャベツ、バレイショが入荷前年並みの単価高、タマネギが入荷減の単価高、レタスが入荷減の単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が3%増加し、価格は前年並みとなった。 葉菜類は、入荷が8%増加し、価格は7%安となった。 果菜類は、入荷が16%増加し、価格は6%安となった。 土物類は、入荷が4%減少し、価格は15%高となった。</p>
果 実	<p>1月期の果実の入荷状況は、柑橘類で、本年が裏年にあたり入荷減となった。また、イチゴ類は、主力産地での低温、日照不足の影響から入荷減となった。一方、作柄が良好であったメロン類と前年の入荷が少なかったリンゴ類では、入荷増となった。果実全体の入荷量は、前年同期を10%下回った。</p> <p>価格は、柑橘類、イチゴ類は入荷減により、またリンゴ類では、下位等級や障害果の入荷が少なかったことから単価高となった。</p> <p>一方、メロン類では、入荷増により、単価安となった。果実全体では、前年同期を39%上回った。</p> <p>品目別には、ふじが入荷増の単価高、王林が入荷増の単価前年並み、アールスメロンが入荷増の単価安、ミカン、イヨカン、イチゴが入荷減の単価高となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が16%減少し、価格は85%高となった。 リンゴ類は、入荷が8%増加し、価格は8%高となった。 イチゴ類は、入荷が6%減少し、価格は22%高となった。 メロン類は、入荷が22%増加し、価格は15%安となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p>【根菜類】 長ダイコン</p> <p>西洋ニンジン</p>	<p>徳島県，長崎県を中心に，和歌山県，千葉県，神奈川県からの入荷。</p> <p>主力の徳島県産，長崎県産の作柄が良好であったことから，入荷量は，前年同期を8%上回った。</p> <p>価格は，入荷増により前年同期を17%下回った。</p> <p>長崎県を中心に，鹿児島県，愛知県，中国，滋賀県からの入荷。長崎県産，鹿児島県産では，作柄が良く豊作傾向であったが，例年入荷の多い鳥取県産では，降雪の影響で大幅な入荷減となった。全体の入荷量は，前年同期並みとなった。</p> <p>価格は，全国的な品薄状態から，前年同期を38%上回った。</p>
<p>【葉菜類】 ハクサイ</p> <p>キャベツ</p>	<p>兵庫県，愛知県，鹿児島県，茨城県，群馬県からの入荷。</p> <p>各産地ともに，低温，干ばつの影響から作柄が悪かったものの中央集散機能が発揮され，入荷量は，前年同期を25%上回った。</p> <p>価格は，入荷増ながら加工，業務需要が堅調であったことから前年同期を7%上回った。</p> <p>愛知県を中心に，茨城県，滋賀県，大阪府，兵庫県からの入荷。各産地ともに低温，干ばつの影響から生育の遅れや作柄不良が見られた。入荷量は，入荷の少なかった前年同期並みとなった。</p> <p>価格は，加工，業務需要が堅調であったことから前年同期を13%上回った。</p>
<p>ハウレンソウ</p> <p>レタス</p>	<p>徳島県，京都府を中心に，滋賀県，茨城県，鳥取県からの入荷。各産地ともに低温，干ばつの影響から生育の遅れや作柄不良が見られたものの，中央集散機能が発揮され，入荷量は，前年同期を6%上回った。</p> <p>価格は，入荷増ながら，全国的な品薄状態から前年同期並みとなった。</p> <p>兵庫県を中心に，徳島県，長崎県，愛媛県，岡山県からの入荷。各産地ともに低温，干ばつの影響から小玉傾向での入荷となり，入荷量は，前年同期を10%下回った。</p> <p>価格は，上中旬までは，前月からの安値で推移し，下旬から単価高で推移した。全体では，前年同期を9%下回った。</p>
<p>【果菜類】 キュウリ</p>	<p>宮崎県を中心に，高知県，徳島県，愛媛県，滋賀県からの入荷。主力の宮崎県産で，好天が続き日照が十分で，作柄が良好であったこと，また，前年の入荷量が少なかったことから，全体の入</p>

ナス	<p>荷量は、前年同期を15%上回った。 価格は、入荷増ながら前年が単価安であったことから、前年同期を4%上回った。</p> <p>高知県を中心に、岡山県、徳島県からの入荷。 各産地ともに好天が続き日照が十分で、作柄が良好であったこと、また、前年の入荷量が少なかったことから、前年同期を19%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を14%下回った。</p>
トマト	<p>熊本県を中心に、福岡県、京都府、岐阜県、佐賀県からの入荷。 多くの産地で、好天が続き日照が十分で、作柄が良好であったことから、特に中旬以降の入荷が順調で、入荷量は前年同期を14%上回った。 価格は、入荷増ながら前年単価安であったことから、前年同期を4%上回った。</p>
ピーマン	<p>宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県からの入荷。 各産地ともに好天が続き日照が十分で、作柄が良好であったこと、また、前年の入荷量が少なかったことから、入荷量は、前年同期を36%上回った。 価格は、入荷増により、前年同期を29%下回った。</p>
<p>【土物類】 バレイショ (メイク含む)</p>	<p>北海道を中心に、長崎県、鹿児島県からの入荷。 主力の北海道産で夏期の高温の影響から作柄が悪く、入荷量は入荷の少なかった前年同期並みであった。 価格は、全国的な品薄状態が続いており、前年同期を14%上回った。</p>
タマネギ	<p>北海道を中心に、兵庫県、アメリカ、中国、静岡県からの入荷。 主力の北海道産で夏期の高温の影響から作柄が悪く入荷減となった。国外産の入荷は著しく増加したものの全体では、前年同期を5%下回った。 価格は、全国的な品薄状態から、前年同期を11%上回った。</p>
<p>【その他野菜】 生シイタケ</p>	<p>徳島県を中心に、広島県、和歌山県、北海道、岡山県からの入荷。多くの産地で高温の影響により発生が少なかったものの本市場での北海道産の取扱量の増加により、全体の入荷量は、前年同期並みであった。 価格は、不況による需要の低迷が続いており、前年同期を11%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	<p>和歌山県を中心に、大阪府、福岡県、香川県からの入荷。 本年は裏年で着果数が少ない上に、各産地ともに夏期の高温干ばつの影響から作柄が悪く、入荷量は、前年同期を19%下回った。 価格は、入荷減と食味良好であることから需要増となり、前年同期を116%上回った。</p>
イヨカン	<p>愛媛県からの入荷。 夏期の高温干ばつの影響から作柄が悪く、入荷量は、前年同期を5%下回った。 価格は、入荷減と前年単価安であったことにより前年同期を34%上回った。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県を中心に、秋田県、岩手県、長野県、山形県からの入荷。 各産地とも小玉傾向での入荷となったが、前年の入荷が少なかったことから、入荷量は前年同期を10%上回った。 価格は、入荷増ながら、下位等級や障害果の入荷が少なかったことから前年同期を7%上回った。</p>
王林	<p>青森県を中心に、秋田県、岩手県からの入荷。 各産地とも小玉傾向での入荷となったが、前年の入荷が少なかったことから、入荷量は前年同期を7%上回った。 価格は、入荷増ながら、下位等級や障害果の入荷が少なかったことから前年同期並みとなった。</p>
イチゴ	<p>福岡県、熊本県を中心に、大分県、長崎県、佐賀県からの入荷。 主力の福岡県産で、寒波と日照不足の影響から着色の遅れがみられ、全体の入荷量は前年同期を6%下回った。 価格は、入荷減により、前年同期を22%上回った。</p>
アールス	<p>熊本県、静岡県を中心に、高知県からの入荷。 各産地ともに、作付面積は減少しているが、作柄は良好で、入荷量は前年同期を8%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を14%下回った。</p>